

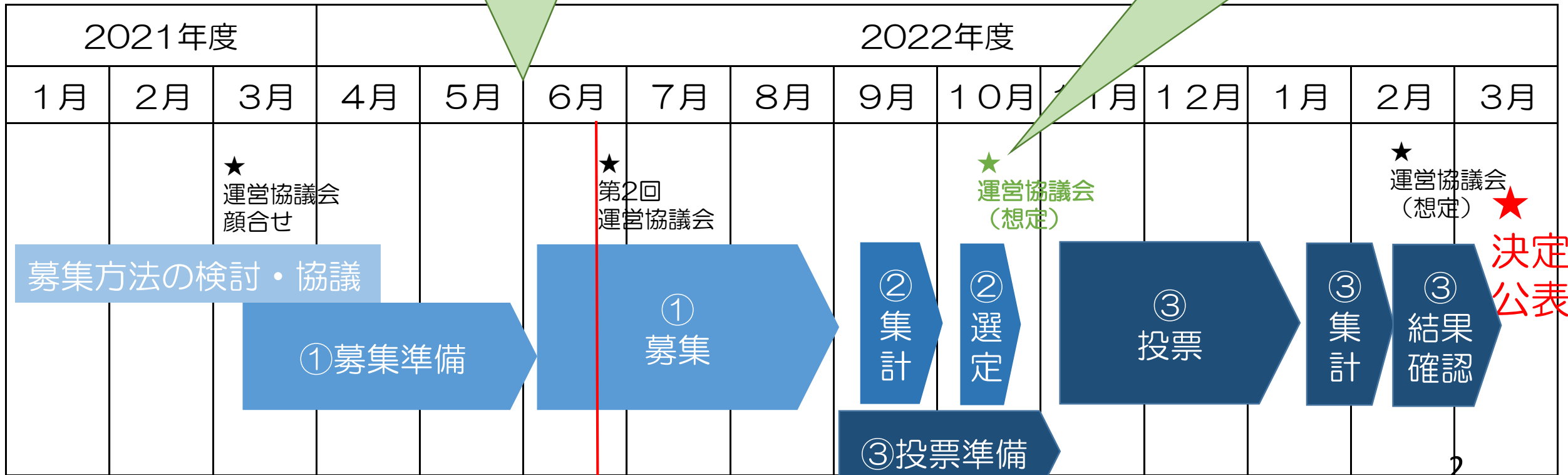
# 愛称募集の経過報告について

# 愛称決定のスケジュール

愛称決定は、以下のスケジュールに沿って行っていきます。

**【募集開始】**  
 ・広報まちだ掲載  
 ・町田市ホームページ掲載

事務局で集計した案から  
委員の皆さまで候補を選定  
 していただきます。



# 広報活動状況

## 町田市バイオエネルギーセンターの 愛称を募集します！

市民の皆さまに、施設に対する理解を深め、親しみを感じていただき、ごみの減量・資源化等による環境負荷低減への意識を高めていただくことを目的として、施設の愛称を募集いたします！



町田市バイオエネルギーセンターは、全国初にも先進的な取り組みである“ごみ”を燃料力で発電させてガスを排出し発電するバイオガス発電設備がごみ処理施設と一緒に建設されており、「ごみになるものを分けたい、燃やさない、燃やしてない」という町田市の基本理念に沿った施設となっています。

今後も、町田市は継続したごみの減量、資源化を進め、持続可能な環境負荷の少ない都市を目指していきます。

【募集期間】  
8月31日（水）まで

【採用された方には】  
・2023年3月頃に表彰式を行います。  
・受賞作品には、**記念品**を贈呈いたします。



バイオガス精製機



煙突



スポーツホ  
(学生会館内)

応募方法はこちらをご覧ください  
または、町田市HPへ



お問い合わせ 町田市 循環型施設整備課 電話番号:042-724-4384  
電子メール:kahigen@70\_02@city.machida.tokyo.jp

## 掲示中の募集ポスター

町田市バイオエネルギーセンターの愛称を募集します

### 下水道使用料の減免措置が継続されます

原則として、3月末まで減免の適用を受けていた方はそのまま継続して減免されます。なお、新たな申請は東京都水道局町田サービスステーションで受け付けます。

生活保護・児童扶養手当・特別児童扶養手当・高齢福祉年金・中国残留邦人支援給付の受給世帯、東日本大震災による避難者、公衆浴場・医療施設・社会福祉施設などの各施設、生活関連23業種／高齢福祉年金とは、大正5年4月1日以前に生まれた方（その他要件あり）を対象とする年金制

町田市バイオエネルギーセンターの愛称を募集します

### 6月は蚊の発生防止強化月間

デング熱やジカウイルス感染症など、蚊が媒介する感染症の発生を防止するためには、水中に生息する幼虫（ポウフラ）を退治して蚊の発生を抑制することが重要です。また、蚊に刺されないために、家に侵入させない対策と外出時の対策をとりましょう。町田市保健所（中町庁舎）で、市民向けリーフレット「夏場の蚊対策」を配布していますので、ご活用ください（市HPでダウンロードも可）。

生活衛生課☎722・7354

## 町田市バイオエネルギーセンターの愛称を募集します

循環型施設整備課☎724・4384

今年1月に稼働開始した町田市バイオエネルギーセンターについて、施設に対する理解を深め、親しみを感じていただき、ごみ処理を始めとした環境問題への意識向上を目的に、施設の愛称を募集します。

詳細は、募集要項（循環型施設整備課（市庁舎7階）、町田市バイオエネルギーセンター2階受付で配布、市HPでダウンロードも可）をご覧ください。

市内在住の方

8月31日までに、郵送（消印有効）、FAXまたはメールで、循環型施設整備課へ（募集要項に記載の投函箱設置場所へ直接投函も可）。

※結果は、市HPに掲載するほか、町田市バイオエネルギーセンターでの掲示を予定しています。また、受賞者には、2023年3月ごろに表彰式を執り行います。



まちだの新たな  
学校づくり  
Machida New School Project 2040



新たな学校づくり推進課  
☎785・5471

本町田・南成瀬・鶴川東・鶴川西地区 統合新設小学校の学校名の案をお寄せください

南第一小学校地区の新たな学校づくりについてご意見をお寄せください

市民の皆さんから、統合して新

南第一小学校地区では、新たな学校づくり基本計画検討会を

## 広報まちだの掲載状況



## ホームページの掲載状況

PR活動を  
頑張ってるのん！



# 当初計画からの変更点

『市内小学校の児童』に変更



当初計画

- 投票者：~~市内小学校の小学4年生から6年生~~
- 方法：~~施設での直接投票~~
- 期間：2ヶ月程度



『施設での直接投票または各学校で投票』に変更

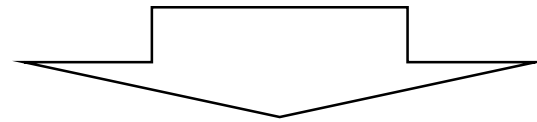
# 愛称をつける趣旨

環境問題への意識向上、施設への理解を深める。

- ・・・第21回地区連絡会のご意見から。

市民が親しみを感じ、末永く愛される施設とする。

- ・・・愛称を、施設で開催するイベント情報や環境学習等の紹介PRに利用する。



愛称を募集することで、環境問題への意識向上、施設への理解を深める。

愛称は、市民が親しみを感じ、末永く愛される呼びやすいものとする。

# 愛称決定までの流れ

愛称の決定は、以下の流れで実施予定です。

- ①市内在住者から**募集**
- ②運営協議会の委員と事務局で候補を**選定**
- ③市内小学4年生から6年生の施設見学時に**投票**

# ①市内在住者からの募集概要

## ○愛称への思い（コンセプト・条件）

- ・親しみやすく、呼びやすいもの
- ・施設をイメージできるもの

## ○募集について

- ・応募資格：市内在住者のみ
- ・案内手段：ホームページ、広報まちだ等
- ・募集方法：郵送、FAX・メール、直接投函

（投函箱を市庁舎7階、バイオエネルギーセンター2階カウンター、3階窓口に設置）

- ・募集期間：3ヶ月

## ○記載事項

- ・応募数「1人1案」
- ・愛称の趣旨（意味、理由、由来、込めた思い）
- ・氏名、ペンネーム、年代
- ・住所、連絡先



# 今後の予定

## ②運営協議会の委員と事務局で候補を**選定**（案）

- 時期 : 運営協議会開催時に実施（2022年度を予定）
- **応募数の内、協議会に提示する案の数** : 全数、または20件程度まで（応募数による）
- 選定方法 : 委員間で議論し、投票（1人3票）
- 選定数 : 3～5案程度

他市事例（市内在住募集）  
約130件・約300件

## 投票

- 投票集計時の愛称決定方法 : 得票数が最多の案を最優秀作品（賞）とする  
得票数2位以下は優秀作品（賞）とする



# 今後の予定

## ②運営協議会の委員と事務局で候補を**選定**（案）

- 応募案は次の手順をふまえ、協議会に提示します

手順1：インターネット上で検索し、他に使用されている案は除外



手順2：愛称への想い（コンセプト・条件）と見当違いな案は除外



手順3：類似している案は集約し、応募数が多い案を提示

例\_町田センター・まちせん・マッチセン・MACHISEN

このような応募があった場合、最も応募数が多い案を提示します。



協議会に提示する案 20件程度（応募数による）

# 今後の予定

## ③市内小学4年生から6年生の施設見学時に投票（案）

- 投票者：市内小学校の小学4年生から6年生
- 方法：施設での直接投票
- 期間：2ヶ月程度